

令和7年第12回加須市教育委員会定例会会議録

招集の日時	令和7年12月15日	午後1時30分
招集の場所	教育委員会室	
開会の日時	令和7年12月15日	午後1時30分
閉会の日時	令和7年12月15日	午後5時20分
出席者の氏名	小野田誠教育長、遠藤康江教育長職務代理者、猪股富美子委員、秋山哲也委員、松永修委員、片山上総委員	
欠席者の氏名		
会議に出席した者の氏名	齊藤千恵美生涯学習部長、中島高広学校教育部長、田村禎子こども局長兼学校教育部理事、矢部良貴教育総務課長、鈴木大輔魅力ある学校づくり推進室長、蓮見晴美生涯学習部参事兼生涯学習課長兼加須文化・学習センター館長兼北川辺郷土資料館長、松井美紀図書館課長兼加須図書館長、高橋一也学校教育課長兼指導主事、田中浩学校教育部参事兼学校給食課長兼加須学校給食センター所長、野本弘美こども保育課長兼学校教育部首席専門員、植木孝幸子育て支援課長、秋山天学校教育課主幹兼指導主事、辻本康平学校教育課主幹兼指導主事、齊藤将宏子育て支援課主幹、岡田正道教育総務課主幹	
会期日程	第1	会議時間の決定
	第2	会議録署名委員の指名
	第3	前回会議録等の承認
	第4	第48号議案 加須市立小・中学校に在籍する児童・生徒の障害の種類及び程度の判断について
	第5	協議事項 加須市こども・若者・子育て支援計画の一部変更について(案)
	第6	協議事項 第3次加須市人づくりプランの骨子について
	第7	その他
発言者	会議の概要	
小野田教育長	<p>ただいまから、令和7年第12回加須市教育委員会定例会を開会します。本日の議事日程につきましては、別紙のとおりでございますので、ご了承願います。</p> <p>会議時間の短縮を図るため、事務局は各資料の説明について、簡潔明瞭に行ってください。</p> <p>本日は、傍聴希望者はありません。</p>	
小野田教育長	<p>【日程第1 会議時間の決定】</p> <p>日程第1 会議時間の決定についてでございますが、本日の日程がすべて終了するまでとすることによろしいでしょうか。</p> <p>(異議なしとの声あり)</p>	

それでは、会議時間は、本日の日程がすべて終了するまでといたします。

小野田教育長

【日程第2 会議録署名委員の指名】

日程第2 会議録署名委員の指名について、今回は松永委員にお願いいたします。

松永委員

はい。

小野田教育長

【日程第3 前回会議録等の承認】

令和7年第11回定例会の会議録については、事前にお配りしてございます。会議録の内容について何かご質疑、ご意見等ございますか。

小野田教育長

ご質疑、ご意見等ないようですので、令和7年第11回定例会の会議録については承認ということによろしいでしょうか。

(異議なしとの声あり)

それでは、承認とします。

小野田教育長

日程第4第48号議案「加須市立小・中学校に在籍する児童・生徒の障害の種類及び程度の判断について」は、個人情報を含む案件であることから、加須市情報公開条例第7条第1項第2号の非公開情報にあたります。

よって、日程第4は、加須市教育委員会会議規則第3条第5項に基づき、会議を非公開とすることによろしいですか。

(よろしい との声あり)

小野田教育長

それでは、これより会議を非公開といたします。

【日程第4 第48号議案「加須市立小・中学校に在籍する児童・生徒の障害の種類及び程度の判断について」】

(全員賛成により原案可決)

小野田教育長

これより会議の非公開を解きます。

小野田教育長

この後、協議事項「(加須市子ども・若者・子育て支援計画の一部変更について(案)」の協議となりますが、市長部局の子育て支援課からの説明を求めますので、加須市教育委員会会議規則第17条に基づき、関係課を入室させてよろしいですか。

(よろしいとの声あり)

それでは、入室を認めます。

小野田教育長	<p>【日程第5 協議事項「加須市こども・若者・子育て支援計画の一部変更について（案）」】</p> <p>日程第5 協議事項「加須市こども・若者・子育て支援計画の一部変更について（案）」を協議します。事務局より説明させます。</p>
植木子育て支援課長	<p>・加須市こども・若者・子育て支援計画の一部変更について（案）について説明</p>
小野田教育長	<p>以上説明がありました。これより協議を行います。 ご質疑、ご意見等ございますか。</p>
松永委員	<p>14ページの2に、「幼稚園における満3歳児クラスの活用を促進し、乳児等通園支援の利用から教育・保育施設の利用への円滑な移行を支援します。」とあるのは、これを円滑に進めるための繋がりを作っていくということでしょうか。</p>
野本こども保育課長 兼学校教育部主席専門員	<p>乳児等通園支援はこども誰でも通園制度のことで、就労していなくても0、1、2歳児が利用することができる制度です。3歳になると誰でも通園制度から切り離されるため、保育所や幼稚園に繋げる必要があります。 基本的にはその提供事業所が、3歳以降に通園できる施設の案内をしますが、そこが繋がらない場合、相談は市も積極的に行いますので、公立幼稚園の活用について計画に記載して繋がり確保してまいります。</p>
秋山委員	<p>3歳児クラスの活用促進は大いにしてほしいと思います。</p>
猪股委員	<p>小規模保育で3歳児以上の保育をすることは、集団での学びや育ちの環境整備が心配される場所ですが、加須市は幼稚園の3歳児クラスを積極活用ということなので、今回の変更は賛成です。 ただ、特別な支援を要するようなお子さんや、集団の保育が難しいこどもたち向けの、3歳児以上の施設がニーズとしてこれから出てくることは想定されないのでしょうか。</p>
野本こども保育課長 兼学校教育部主席専門員	<p>3歳以上児の小規模保育が全国的に拡大する理由の1つにそのようなものもあると認識はしています。 加須市においては、0、1、2歳も含めて小規模保育がありませんが、公立である園があります。集団が苦手なお子さんは、あすなる園に通園していただいて、学校に繋げる流れもありますので、今すぐに小規模保育というよりは、あすなる園を利用いただけたらと考えております。</p>
猪股委員	<p>あすなる園は、素晴らしい人と施設があるのに利用者が少ない状況です。加須市でこのような形をとるのであれば、あすなる園の運営や機能を少し見直したほうがいいと思います。 ニーズの少ないところだけでも、集団が難しいお子さんも3歳以上で確実にいます。小規模保育をゼロにすることで、そういうご家庭の方たちに居場所をシャットアウトされたイメージを与えないような形で進めていただければと思います。</p>
片山委員	<p>変更については問題ありません。どこの幼稚園もとても素晴らしい取り組みをし</p>

	<p>ていますので、対象の方にもうまく伝えていただいて、幼稚園の良さを伝えてほしいと思います。</p>
小野田教育長	<p>他にございませんか。 それでは、ご質疑、ご意見等がないようですので、協議を終わりにいたします。</p>
小野田教育長	<p>【日程第6 協議事項「第3次加須市人づくりプランの骨子について」】 日程第6 協議事項「第3次加須市人づくりプランの骨子について」を協議します。事務局より説明させます。</p>
矢部教育総務課長	<p>・第3次加須市人づくりプランの骨子について説明</p>
小野田教育長	<p>以上説明がありました。これより協議を行います。 ご質疑、ご意見等ございますか。</p>
遠藤教育長職務代理者	<p>SDGsの説明と同じようにESDについても説明を入れていただきたいと思っています。</p>
猪股委員	<p>ESDで目指すことは「7つの能力・態度」を身につけさせることですので、そのような内容になってるか確認していただきたいと思っています。 また、施策に「豊かな心の育成」がありますが、心だけではなく体も教育の中で大きいと思っています。これから部活動の地域展開もありますので、健康な体づくりの中に給食とともに学校体育についても記載することが必要だと思っています。</p>
遠藤教育長職務代理者	<p>こどもたちにとっての教育環境の一番は先生です。先生とこどもの関係について加須市らしさが入るとよりよい施策になると思います。 また、いじめ対策という言葉がなくなり、豊かな心の育成になったのは良かったと思います。</p>
松永委員	<p>計画の基本理念である「家族・地域の絆を大切に、生きる力を醸成する」は、加須市らしい特別な言葉だと私は思いますので、継承することに問題はありません。この言葉は、学校のグランドデザインなどいろいろなところで使われていますが、人によって曖昧にとらえてしまうところがあるため、この機会にわかりやすい言葉で定義する必要があると思います。</p>
片山委員	<p>「学校教育」、「家庭・地域の絆」、「市民の生涯学習」の教育が行われる主な「場」や「主体」に着目して整理したとき、今後5年間で高齢者や中年の人口割合が多くなるため、生涯学習の分野に厚みを持たせる必要があると思います。</p>
猪股委員	<p>教育という切り口で総合振興計画にあまり縛られずに独自色が出せるメリットは大きいと思います。今までは総合振興計画にとらわれることで違和感があり、指標もおかしいものがありました。これから力を入れていくことやアピールしたいことを量的な指標と質的な指標にバランスよく入れて、生まれてから高齢者になるまでの人生の流れの中でリンクするような文脈に配慮してほしいと思います。</p>

秋山委員	生涯を通じて健康は大事であり、成長する段階でどのように体を作っていくのかが入ると良いと思います。
小野田教育長	他にございませんか。 それでは、ご質疑、ご意見等がないようですので、協議を終わりにいたします。
小野田教育長	【日程第6 「その他」】 日程第6 「その他」でございます。 諸般の報告をさせます。 斉藤生涯学習部長より順次報告をいたします。
斉藤生涯学習部長	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な魅力ある学校づくりに向けた取組の進捗状況について ・二十歳の集いについて ・生涯学習推進計画について
中島学校教育部長	<ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザによる学級閉鎖の状況について ・令和7年度第1回加須市通園通学区域審議会について
田村こども局長	<ul style="list-style-type: none"> ・公立幼稚園の「長期休業日預かり保育に係るアンケート」の結果について
小野田教育長	何かご質疑、ご意見等ございますか。
松永委員	「長期休業日預かり保育に係るアンケート」の結果において、1園での実施についてどう思うかとの質問で「1園でもよい」という回答が42.9%で多いという結果でした。しかしながら、アンケートの対象が長期休業日預かり保育を希望した家庭であり、現在通っている幼稚園であれば希望するものの、花崎北幼稚園では遠くて通えないという家庭は対象となっていません。このアンケート結果をもって1園でよいとはならないと思いますので、いろいろな状況を踏まえながら総合的に判断してほしいと思います。
田村こども局長	利用した人のアンケートになっているため、偏った回答になっていることは認識しております。通える、通えないはありますが、想定よりも申し込みが少数で、複数園での実施に踏み切るほどの実績ではありませんでした。冬休みも実施しますので、その状況を踏まえて検討してまいります。
松永委員	<p>「不登校児童生徒の進路に係る調査結果について」を見ると、中学校で不登校であった生徒も幅広く進路を選択できていることがわかります。特に、通信制の高校の充実が伺えます。</p> <p>中学校を卒業すると、加須市立の学校を離れることとなりますが、卒業しても加須市のこどもであることには変わりありません。教育委員会として、加須市のこどもたちを育てていくという観点から、中学校で不登校であったこどもたちが、不登校が改善したか、卒業できたかなど、高等学校等に進学した後の状況についても把握していくことが必要だと考えます。独自の調査はないと思いますが、文部科学省や県教育委員会にこれに類する調査結果や情報がありましたら教えていただきたいと思います。</p>

高橋学校教育課長兼指導主事	<p>高等学校を卒業した後の追跡ではありませんが、文部科学省が令和7年3月に行った不登校経験者等を対象とする調査がございます。</p> <p>文部科学省が委託しているリサーチ会社に登録している1万8,207人を対象としたインターネット調査と、支援団体や自治体などから調査協力に応じた321人を対象としたオンライン調査の2種類があります。</p> <p>どちらの調査も18歳から59歳を対象としておりまして、オンライン調査の方が若年層の割合が高くなっています。</p> <p>卒業後の状況として多かったものは、インターネット調査では進学が最も多く、77.6%、次いで、就職が9.2%。オンライン調査では、進学が88.8%、次いで、進学、就職をしていないと答えたものが6.2%となっています。</p> <p>進学先として多かったものについては、インターネット調査では全日制の高校が最も多く73.1%、次いで通信制が10.1%、オンライン調査では通信制高校が最も多く42.1%、次いで全日制の高校が38.9%でございました。</p>
松永委員	<p>図書館まつりは素晴らしい取り組みで、加須市の図書館に関わる文化の高さ、生涯学習の強さを感じました。これからも続けて欲しいと思います。</p>
猪股委員	<p>「加須市PTA連合会教育座談会」で、全国的に日本PTA全国協議会や埼玉県PTA連合会から脱退するところが増え、今回の座談会で市のPTA連合会の解散についても話し合われています。この市のPTA連合会の解散についてはどうなったのか教えていただきたいと思います。</p> <p>2点目に、「加須未来館リニューアルプロジェクト」で、クラウドファンディングで約145万円集まりましたが、ファン投票の1位2位は金額的に無理なので、どれをリニューアル対象にするのでしょうか。</p> <p>3点目に、「不登校生徒の進路に係る調査の結果について」で、在家庭のお子さんも少なからずいます。進学すればその進学先の様々なサポートが受けられますが、在家庭のこどもたちはこども局や福祉部で、現在どのようなサポートを受けられるのか教えていただければと思います。</p>
蓮見生涯学習部参事兼生涯学習課長兼加須文化・学習センター館長兼北川辺郷土資料館長	<p>PTA連合会の解散については、その考えもありましたが、負担が大きいからなり手がいないのではないかと、情報共有の場として必要である、負担の軽減方法を考えるべきなど建設的な意見もあり継続審議となっています。</p> <p>未来館のクラウドファンディングは、年度末までに形にする必要がありますので、宇宙船内活動着未来館モデル着用体験、JAXA備品展示、受け答えのできるロボットの導入について、業者と話を詰めているところでございます。</p>
田村こども局長	<p>在家庭のこどもたちの支援をどこで担当するかは、はっきりしていません。要保護児童対策地域協議会で関わったり、生活保護で関わったりしている場合は、必要に応じて中学校卒業後の子に対して支援を行うことはありますが、そうでないこどもたちを含めてどこがどのように責任を持つのかは、今のところありません。</p> <p>ただ、こども・若者・子育て支援計画には若者が入っており、国のこども家庭庁の予算でも若者の支援が来年度の予算に明記されています。県からも、若者を対象とした組織をつくる話は来々していますので、いろいろな部署が関わるとは思いますが、こども局が中心になると考えています。</p>

遠藤教育長職務代理者	「下總皖一音楽賞受賞者コンサート2025」は素晴らしいものでした。さいたま市でやっているときは、無料であっても遠いため行くことができない方も結構いました。加須市で昼間に開催しているので、ぜひ中学生に本物の音楽を見てもらえたらと思いました。
蓮見生涯学習部参事兼生涯学習課長兼加須文化・学習センター館長兼北川辺郷土資料館長	来年度も加須市で開催される見込みではあります。ご提案の中学生については、今後、考えていきたいと思います。
小野田教育長	報告の最後に、第4次加須市生涯学習推進計画の策定について生涯学習課長から報告をしてください。
蓮見生涯学習部参事兼生涯学習課長兼加須文化・学習センター館長兼北川辺郷土資料館長	生涯学習推進計画について、第11回教育委員会定例会の後のフリートークで策定方針についてのご意見をいただき、ありがとうございました。その後、生涯学習課で見直しを行い、加須市人づくりプランを踏まえ、加須市総合振興計画の部門計画として、関連する計画との整合性を図って策定してまいります。 今後、生涯学習推進会議でご意見をいただきながら、1月25日の教育委員会定例会にて計画案を示す予定です。 第4次加須市生涯学習推進計画における基本目標は、第3次と同じく、5本の基本目標を立てて作成してまいりたいと考えております。
小野田教育長	それでは、報告を終わります。
小野田教育長	以上で、令和7年第12回定例会の議事日程は、終了といたします。 令和8年第1回定例会は、1月26日(月)に開会しますので、よろしくお願いいたします。 これをもちまして、令和7年第12回加須市教育委員会定例会を閉会といたします。
	上記、会議の顛末を記載し相違ないことを証明するため、ここに署名する。
	令和8年1月26日
	教育長 小野田 誠
	委員 松永 修
	書記 岡田 正道